



## 変化と戦略のためのパートナー

事務総長

ジョン・ヒューコ

2017年1月16日

皆さん、こんにちは。

ロータリー財団の第二世紀の初年度に地区ガバナーとなられる皆さまにお話しでき、誠に光栄です。

協議会は、ガバナーエレクトと事務局職員が学びあい、意欲を分かちあう機会となります。

エバンストンの世界本部、7カ所の国際事務局、プネ(インド)のサービスセンターで働く私たちは、世界中で活動するロータリークラブをサポートし、クラブを代表する地区ガバナーの皆さまをお手伝いいたします。

事務局職員は、40カ国以上の出身者から成り、合計で40カ国語以上を話します。真に国際的で才能あるプロフェッショナルなチームを率いることができ、事務総長としてとても誇りに感じています。

ロータリアンであることは、奉仕のため、変化のために結びつくことです。この精神の下、今から5年ほど前の、私が事務総長になる直前にあった逸話をご紹介しますと思います。私と妻マーガは実りと報い多きロータリーの旅に出発しましたが、人生を変えるような、ある偶然のめぐりあいがなければ、この旅に出ることはありませんでした。

私は当時、発展途上国における持続可能な経済成長を助長する米政府機関、ミレニアム・チャレンジ公社を退社後、ワシントンのシンクタンクで研究に携わっていました。

研究で学んだことに関する政策論文を発表しようとしていた私は、この論文を読み直しながら、自分が次に何をしたいのかを模索していました。

手短かに言えば、人生の転機にあったのです。

そんなある日、突然、父から一通の手紙が届きました。

デトロイトの北にある小さな町クラークストンに住む父は、35年来のロータリアンであり、『The Rotarian』誌の愛読者でした。

封書には、『The Rotarian』誌の切り抜きが1ページ入っていました。ロータリーが新しい事務総長を探しているという募集記事です。そのページの上部には、半分ウクライナ語、半分英語で、「ジョン、お前にどうだろうか」と手書きが添えられていました。

その父の手紙は今も、エバンストンの私のオフィスの壁に、額入りで飾ってあります。

私はその募集記事を読みました。

その機会に関心をもち、早速応募しました。あれから5年経ちましたが、あの手紙に今も感謝しています。世界中の人びとの人生を変えているこの素晴らしい団体で、ささやかながら役割を果たす機会をもたらしてくれた手紙に。

この経験で私が学んだ重要な教訓が3つあります。

**第一に**、父親の言うことには必ず耳を傾けること。

**第二に**、『The Rotarian』誌を愛読していれば、とても良いことがあるということ。

**第三に**、ロータリーファミリーの中では、個人や組織の転機が訪れたときに、自分を、人びとを、組織を、良い方向に変える素晴らしい機会が、常に手の届くところにあるということ。

このような変革の機会に注目するため、イアン会長エレクトは、ガバナーとなる年度にロータリー戦略計画の3本柱に優先的に力を注ぐよう、皆さまに求めています。

まず、「クラブのサポートと強化」については、過去20年近く、全世界の会員数が約120万人で横ばいであるという事実に取り組む必要があります。

次に、「人道的奉仕の重点化と増加」については、ロータリーの計画とプロジェクトのすべてに「持続可能性」を盛り込む必要があります。

そうすることで、6つの各重点分野における活動が強化され、イアン会長エレクトが強調する地球の持続可能性をも支えることとなります。

3つ目に、「公共イメージの向上」については、一般の人や入会候補者に向けたコミュニケーション手段やイベントをもっと増やさなくてはなりません。

これにより、会員増強や財団への支援が後押しされるでしょう。

次に、ロータリー戦略計画を実施する皆さまをお手伝いする事務局の役割を、いくつかご紹介いたします。

「クラブのサポートと強化」という第一の柱については、クラブと協力して革新性を育み、新しい取り組みの実施を促進しています。

例えば、昨年4月の規定審議会では、当組織にとって戦略的に重要な2つの制定案が採択されました。

1つ目は、例会、出席、会員種類に関してクラブに柔軟性を与え、クラブが望めば、革新的なクラブのモデルを作れるようにするものです。

2つ目は、ロータリーの未来を担うリーダーを対象とする会員増強を促すものです。

ロータリアンとなるローターアクターの割合は世界でごくわずかです。このため審議会は、ロータリークラブの入会資格をシンプルにし、ローターアクターがローターアクト在籍中にもロータリークラブに入会できるようにし、この問題に対処しようと試みました。

事務局の役割は、こうした変更についてクラブの皆さまに説明することに加え、各種の連絡手段を通じて、成功した画期的な事例をロータリアンにお伝えしていくことです。

皆さまにも、これらの機会についてクラブへの周知にご協力いただけるようお願いいたします。クラブの柔軟性と成長を促す機会を生かしてください。また、変化をもたらしているクラブの革新性の成功例をぜひお寄せください。

事務局がクラブをお手伝いする2つ目の方法は、青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクト、奨学金受領者など、多くのロータリープログラムの参加者を含む、充実した学友データベースを築くことです。このようなデータベースがあれば、この素晴らしい組織が人生への影響をもたらした人たちとの結びつきを保つことができます。

3つ目に、クラブのサポートと強化、そしてクラブでの経験の充実に役立つ新しいツールや改善されたツールの提供があります。これらのツールが可能となった背景には、2016年規定審議会による会費増額がありました。

例えば、クラブが目標と戦略計画を立てるためのツール、「ロータリークラブ・セントラル」は、現在、全面的な再構築が行われています。改善後のロータリークラブ・セントラルは使い勝手や機能が良くなり、2017年6月30日までに利用開始となる予定です。

さらに、My ROTARY の検索機能の改善により、情報を素早く見つけ、数々の資料をもっと簡単に探せるようになります。

次に、戦略計画の「人道的奉仕の重点化と増加」という**第二の柱**のために、事務局はどのようにお手伝いできるでしょうか。

最近、補助金モデルについて、これまでで最大規模の評価を実施し、154カ国の6,000人近いロータリアンから回答を得ることができました。

この評価の結果は、私たちが正しい方向に向かっていることを裏付けるものであり、モデルに若干の修正を加える上で役立ちました。また、グローバル補助金を通じて高いレベルの持続可能性と活動成果が実現できたことが証明されました。

また、その結果を基に、オンラインでのグローバル補助金申請サイトが更新され、先月に公開されました。

また、国内外のロータリークラブの活動を見たり、自分たちのプロジェクトをロータリー仲間やフェイスブックの友だちとシェアできる「ロータリーショーケース」もつくられました。これまでに既に4万件の奉仕プロジェクトが掲載されています。

「アイデア応援サイト」もあります。これは、ロータリークラブがプロジェクトのパートナー、寄付、ボランティアを募ることのできるツールです。

これらのツールを利用して、クラブ同士、地区同士の協力を深め、もっと大きく、大胆で、持続可能なプロジェクトを実施することを、クラブと地区に呼びかけています。

こうした努力は実を結んでいます。

今年、ロータリー財団は、CNBC(米大手ニュース放送局)によって「2016年に世界を変えた慈善団体トップ10」の第3位に選ばれました。さらに、同じ業界の他団体からも認められ、米国ファンドレイジング協会による「2016年世界の卓越した財団賞」を受賞しました。

最後に、イアン会長エレクトは、**戦略計画の第三の柱**、つまり公共イメージ向上のために、地域社会でロータリーの推進に力を注ぐよう、皆さまに求めています。

この取り組みを支えるため、私たちはブランド強化の取り組みを完了し、より力強いメッセージと新しいビジュアルアイデンティティを導入しました。

インターネット上でロータリーの存在感を高めることにも力を注いでいます。

今月、ロータリーの窓口となる [Rotary.org](http://Rotary.org) の一般向けページが新しくなりました。これにより、サイトがスピードアップしただけでなく、新しいデザインでロータリーのストーリーを魅力的に伝えています。

視覚的資料やデジタル資料をつくるのに必要なテンプレートやツールはすべて、「ブランドリソースセンター」1カ所からダウンロードできます。

また、世界的なコミュニケーションの取り組みも大幅に改善、拡大しています。

その結果、ロータリーの活動に対する全世界での認識が高まっています。過去1年間に、「タイム」誌、「ニューヨークタイムズ」紙、「ナショナルジオグラフィック」誌、「ピープル」誌、「フォーブス」誌、BBC、アルジャジーラ、ドイチュェ・ヴィレなどにより、ロータリーを好ましく伝える多くの報道が行われました。

10月の「世界ポリオデー」のライブ動画配信イベントは、エンゲージメントという点で視聴回数が10万を上回っただけでなく、ソーシャルメディアによる見込みリーチ数は2億1100万以上に上り、これまでのロータリーの記録を大きく塗り替えました。

さらに、各地のロータリークラブが90カ国以上で1,460もの世界ポリオデーイベントを実施しました。

ポリオ撲滅については、全クラブがこの素晴らしいストーリーを伝えていくべきです。人類史上、世界から撲滅される2番目の病となるポリオの撲滅が近いことを、人びとに伝える必要があります。全ロータリークラブがこの素晴らしいストーリーを伝えてはじめて、この壮大かつ歴史的な取り組みについて、しかるべき認識を得ることができるからです。

変化と戦略のためのパートナーとして、私と事務局の職員一同、皆さまが次年度に期待を寄せ、事務局からのサポートを活用して戦略的に活動しながら、めまぐるしく変わる世界のニーズに取り組めると、自信をもっていただけることを願っております。

会員増強、財団への寄付、人道的奉仕、公共イメージ、新世代の入会など、ロータリーが秘める可能性を最大限に実現したいなら、現状に甘んじていられないことは明らかです。

ロータリーが提供する「ロータリーでの経験」を、現会員にとっても、入会候補者にとっても、魅力的で価値あるものとする必要があります。

また、ロータリーはそのアイデンティティを妥協することなく、時代に即した存在であり続け、時代とともに進化できるようにしなくてはなりません。

今なすべき決定は、私たちに何ができるかではなく、何をする意志があるかです。

必要とされる変化は何かを考え、その変化を生み出す意志が、私たちにあるでしょうか。

地区ガバナーエレクトである皆さまは、戦略的な変化のための変革を導き、「ロータリー:変化をもたらす」というイアン会長エレクトのビジョンの先頭に立つことによって、この間に答えられるでしょう。

私どもロータリー事務局の職員は、最善を尽くして、皆さまのお手伝いをいたします。

私たちは毎朝、非常に大きな誇りをもって、ロータリー世界本部や国際事務局に出勤します。これは私だけでなく、職員全員に言えることです。なぜなら、私たちの仕事は、毎日それぞれの地域での活動を通じて世界をより良くしている皆さまをサポートすることだからです。